

■ 環境モニタリング（PCB）の長期傾向について

北海道環境生活部環境保全局循環型社会推進課

○ 測定箇所

- ・排出源（計 12 か所）及び周辺環境（計 13 か所）において JESCO 及び北海道がモニタリングを実施

<排出源モニタリング>

	実施主体	調査施設	調査要素	調査地点	調査頻度	排出管理目標値
1	JESCO 北海道	当初施設	排気	第 1 系統	4 回/年 随時（2 回/年）	10 μ g/Nm ³ 以下
2				第 2 系統		
3				第 3-1 系統		
4				第 3-2 系統		
5				第 3-3 系統		
6				換気空調設備		
7				分析設備		
8		増設施設	排気	プラズマ排気系統 1		
9				プラズマ排気系統 2		
10				換気空調設備		
11				分析設備		
12	北海道	当初施設	排水	最終放流口	随時（2 回/年）	500,000pg/L 以下

<周辺環境モニタリング>

	実施主体	調査要素	調査地点	調査頻度	環境基準値等*
1	JESCO	大気	敷地境界東側南端	4 回/年	500,000pg/m ³
2			処理情報センター		
3		水質	雨水幹線排水路合流前	6 回/年	不検出
4		底質	雨水幹線排水路上流	1 回/年	10,000,000pg/g
5			雨水幹線排水路下流		
6	北海道	大気	輪西地区測定局	4 回/年	500,000pg/m ³
7			御前水地区測定局		
8			白鳥台地区測定局		
9			東地区（室蘭消防本部）		
10			祝津地区（室蘭水族館）		
11		水質	排水路先海域	2 回/年	不検出
12			室蘭海域 ST-4		
13			底質		

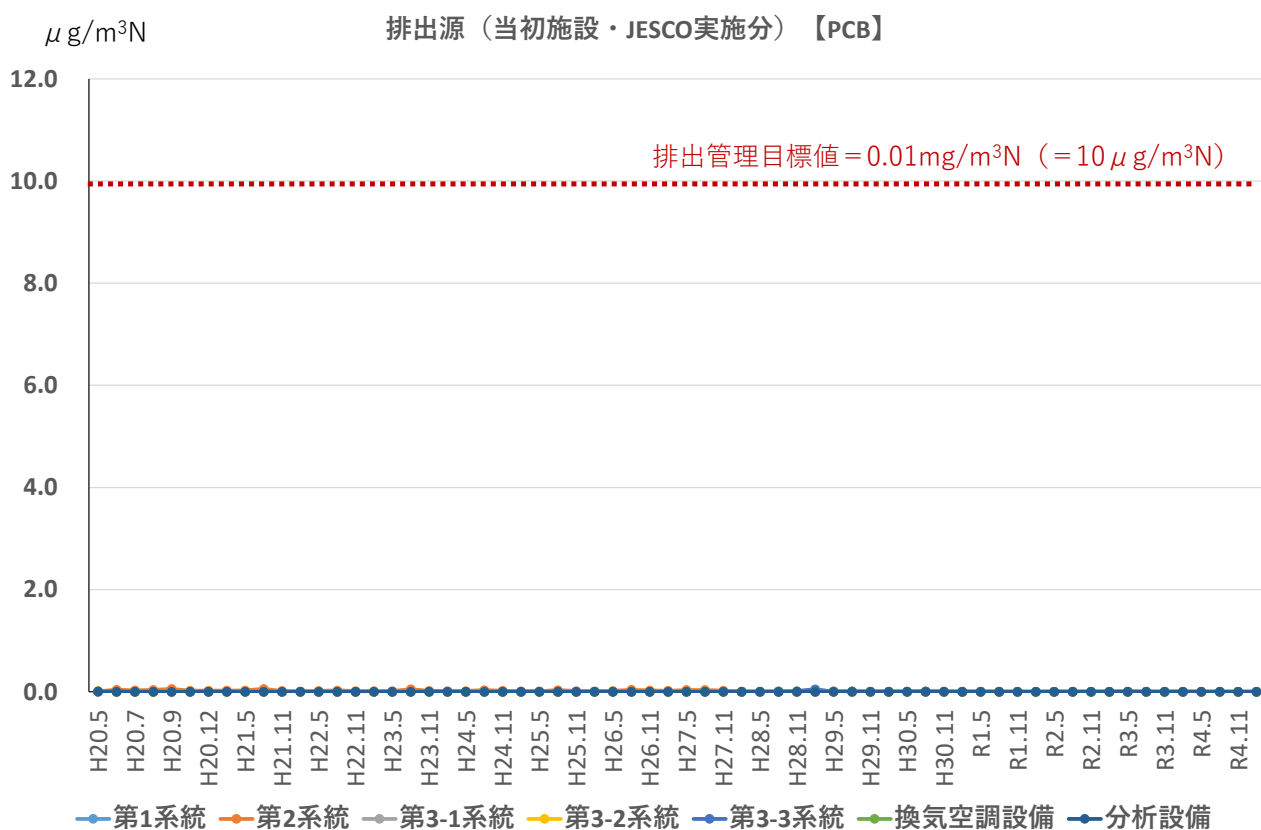
※ 大気：「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCB暫定排出許容限界について（昭和47年12月22日環境庁大気保全局長通知）」に示された暫定環境濃度

水質：環境基準値が「不検出」。検出限界値は 0.0005mg/L = 500,000pg/L。

底質：「底質の暫定除去基準について（昭和50年10月28日環境庁水質保全局長通知）」に示された公共用水域の水質汚濁、魚介類汚染等の原因となる汚染底質の除去等の基準（10ppm）

○ グラフについて

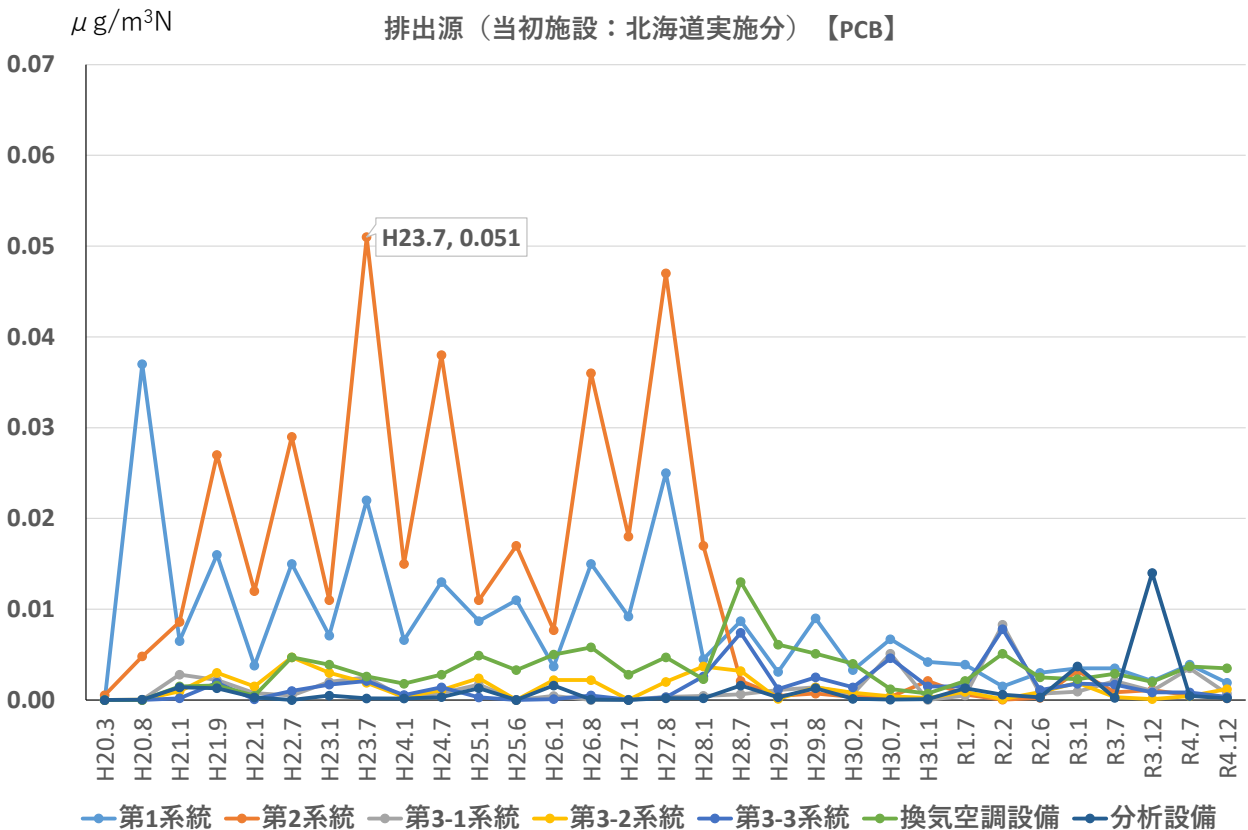
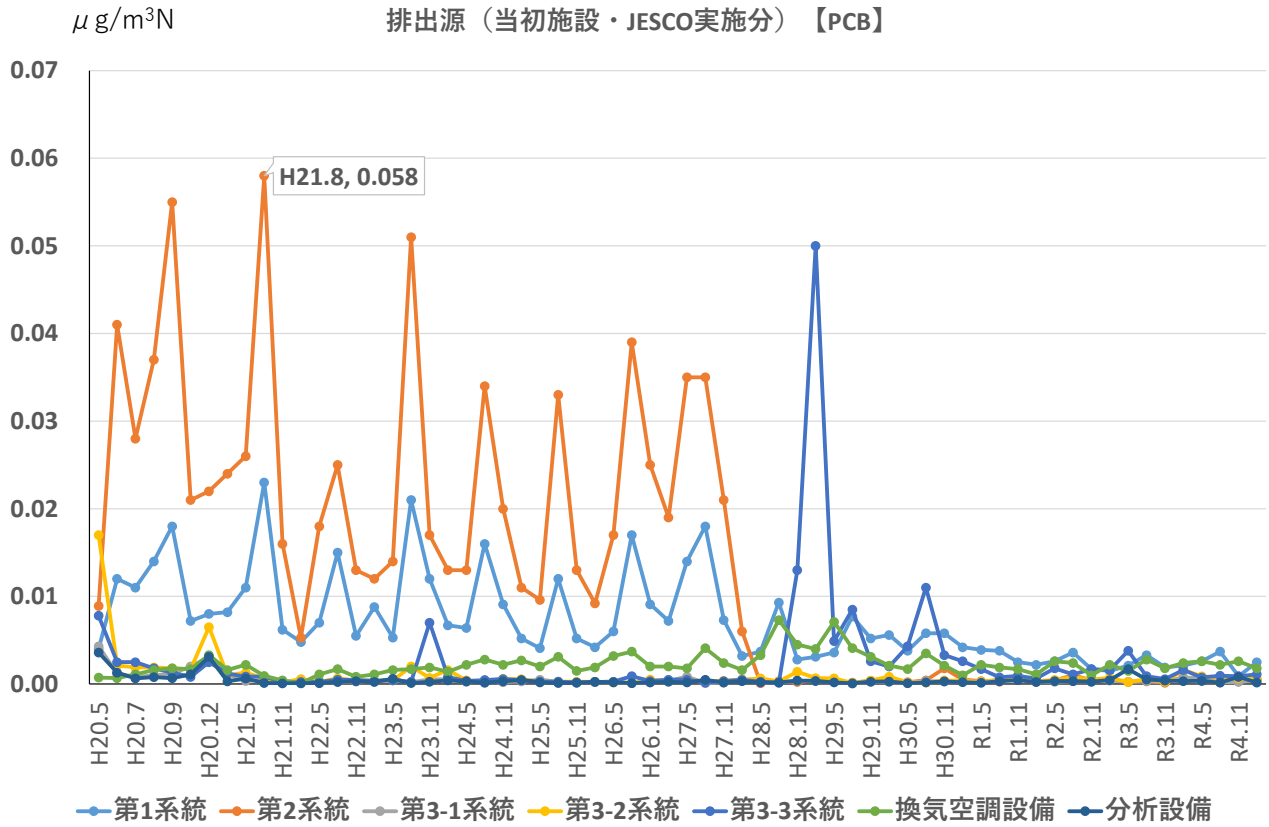
- 排出管理目標値や環境基準値等との比較を行うグラフを作成すると、モニタリング結果は、下の図のように目標値（基準値）からみると小さい値となっています。
- 今回は、長期傾向を把握するため、目標値（基準値）との比較は行わず、変動が把握できる範囲でのグラフをお示ししています。



目標値の 1/100 以下で推移しているため、
目標値と比較するグラフでは長期傾向や変動の把握は困難です

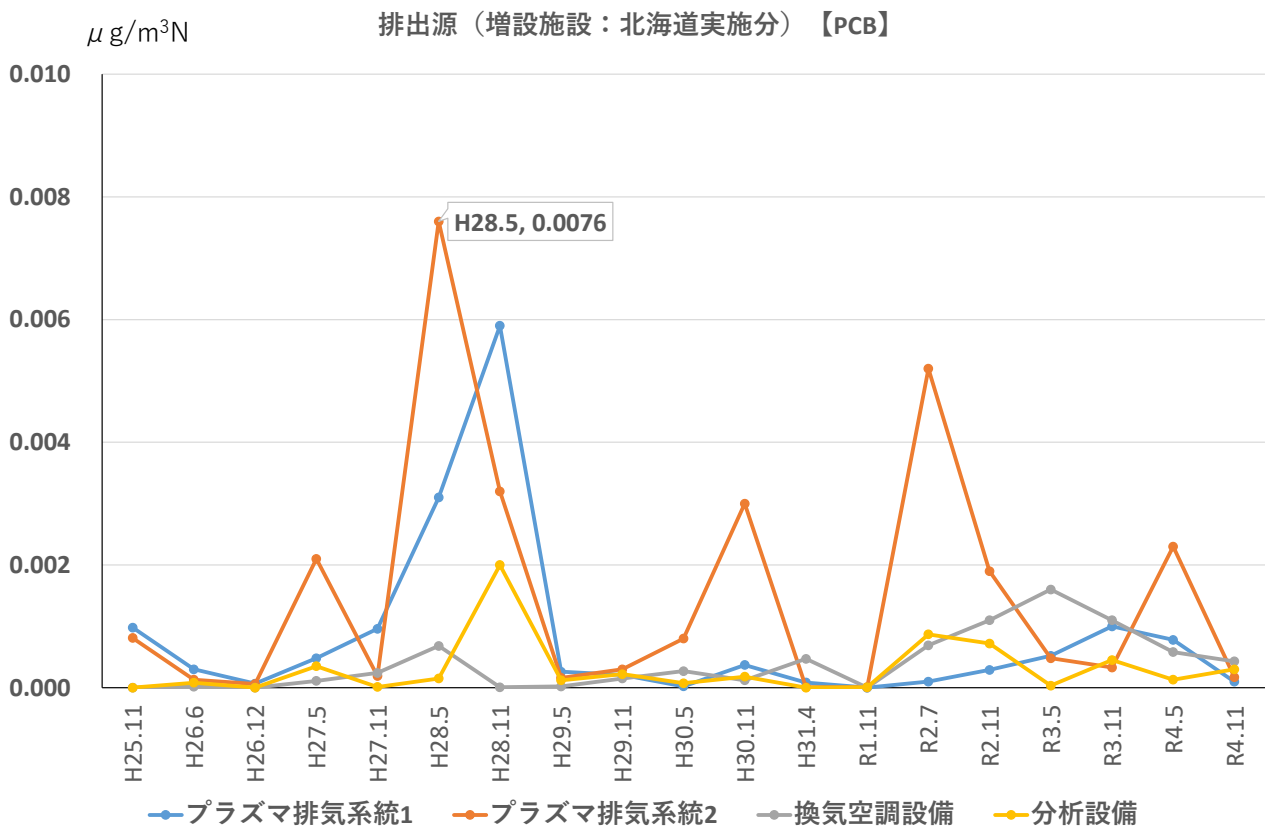
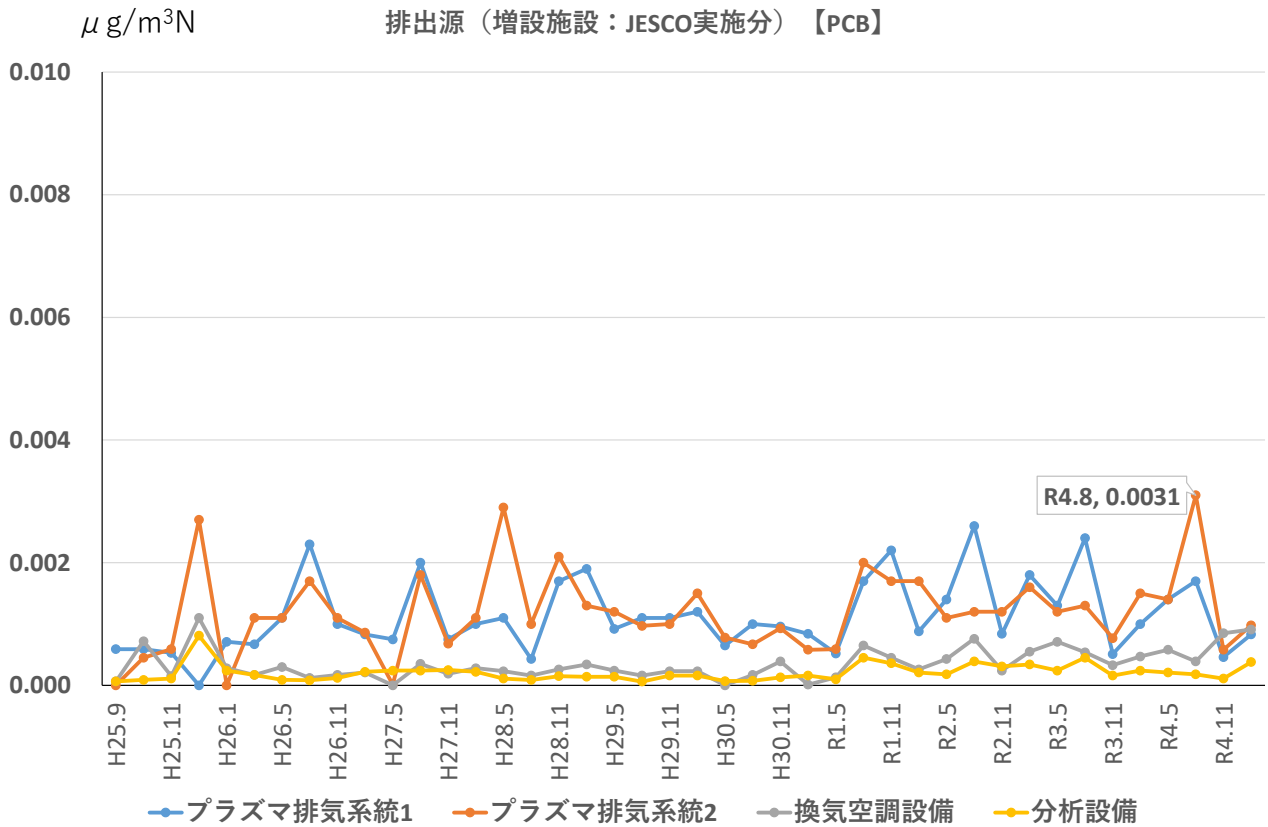
1-1 排出源（当初施設）

- 排出管理目標値（ $10\mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）の1/100以下で推移
- 第1、第2系統は、解体エリアの改修にともないH28頃から濃度がさらに低下



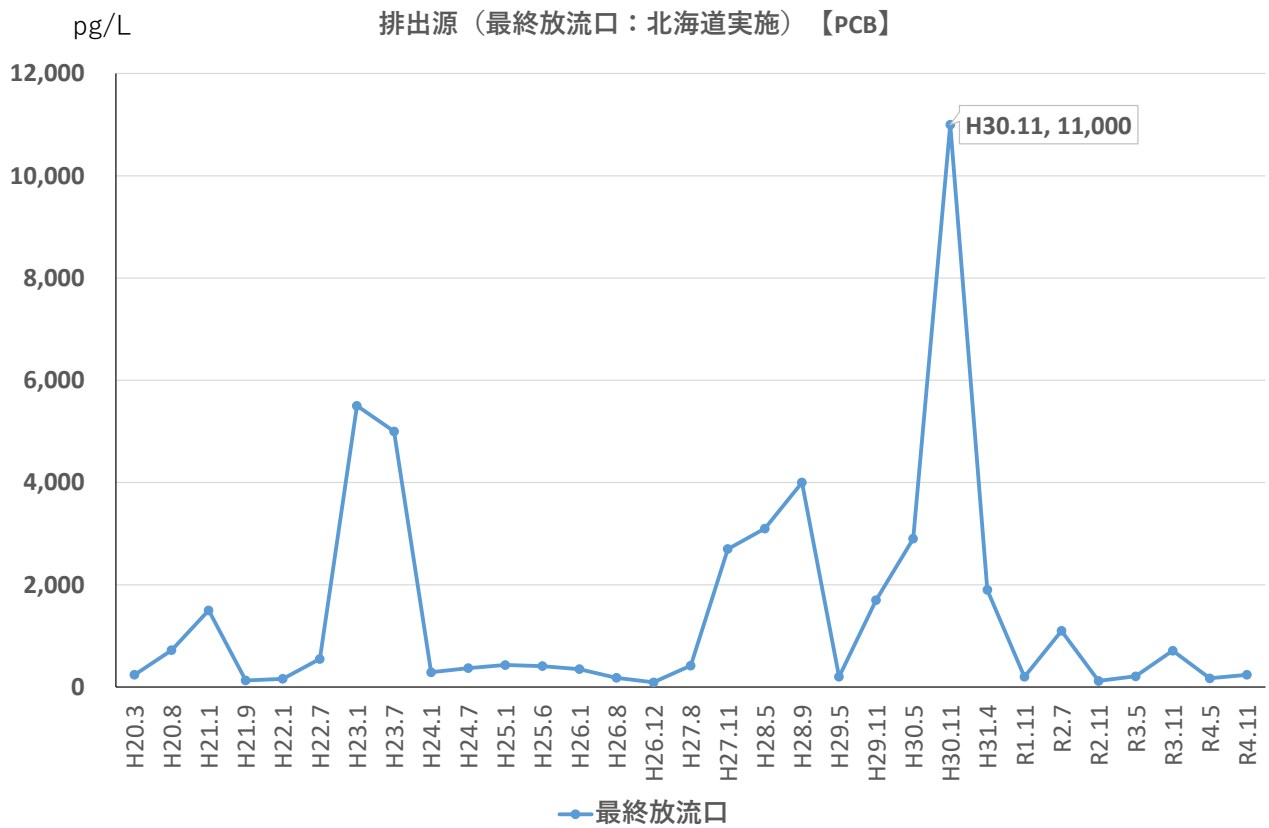
1-2 排出源（増設施設）

- 排出管理目標値（ $10\mu\text{g}/\text{m}^3\text{N}$ ）の1/1000以下で推移
- 多少のばらつきはあるものの、一定の範囲内での変動



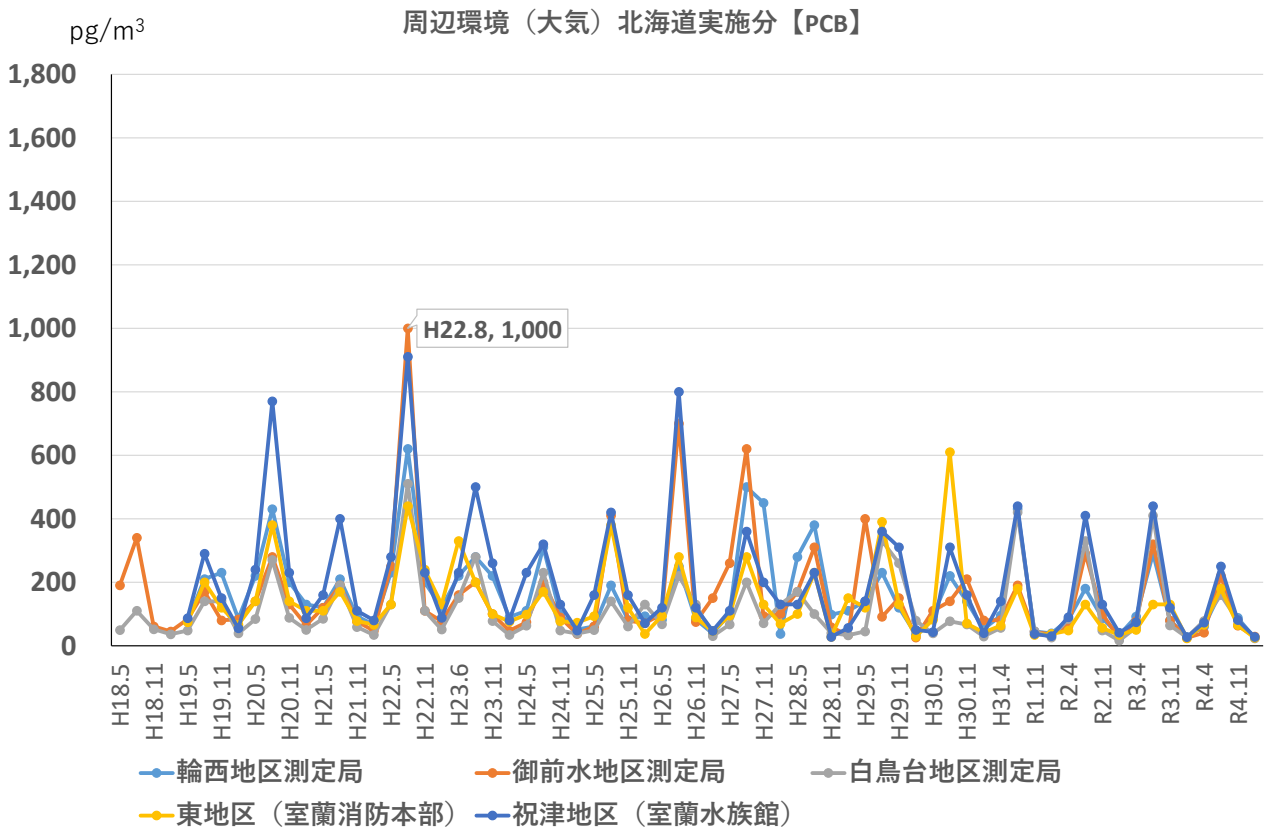
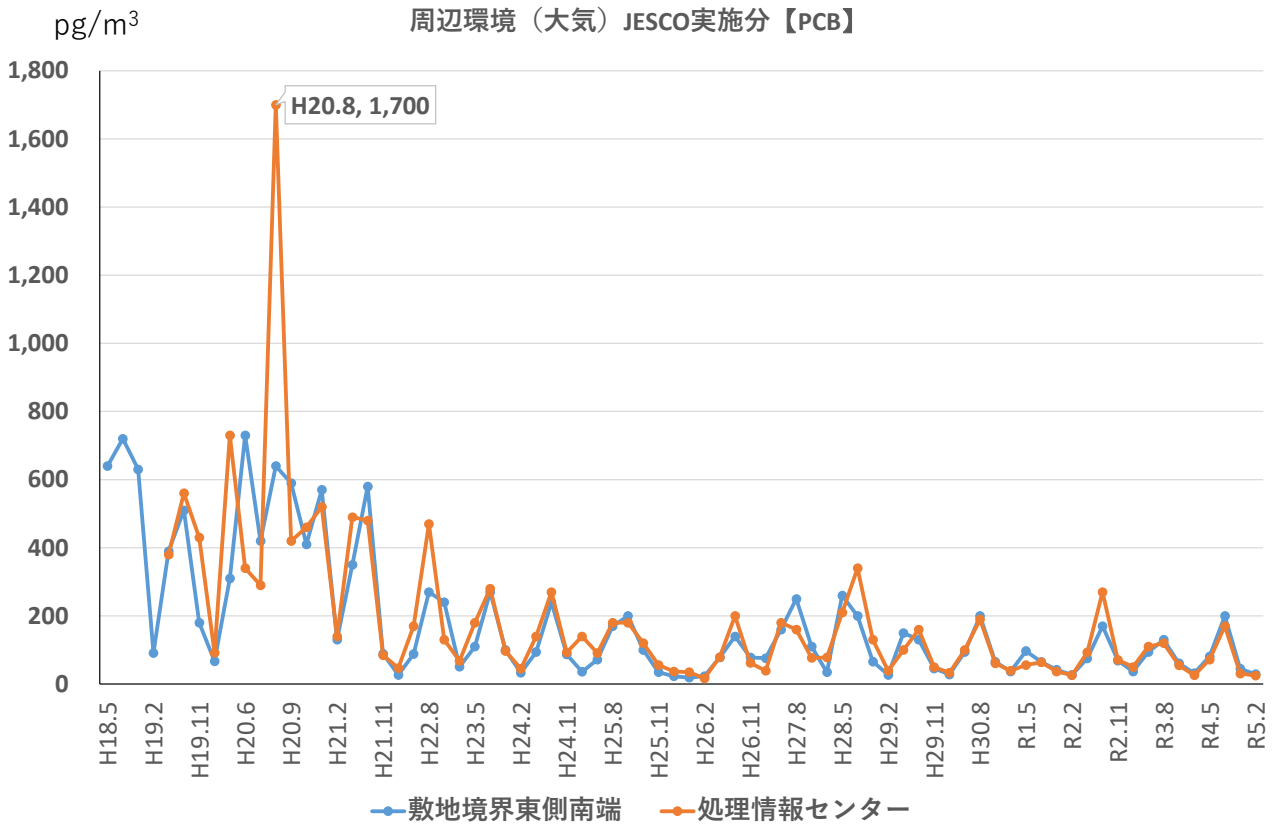
1-3 排出源（最終放流口）

- 概ね、排出管理目標値（500,000pg/L）の1/100以下で推移
- 浄化槽排水のため、浄化槽の状態に影響を受けているものと思われる



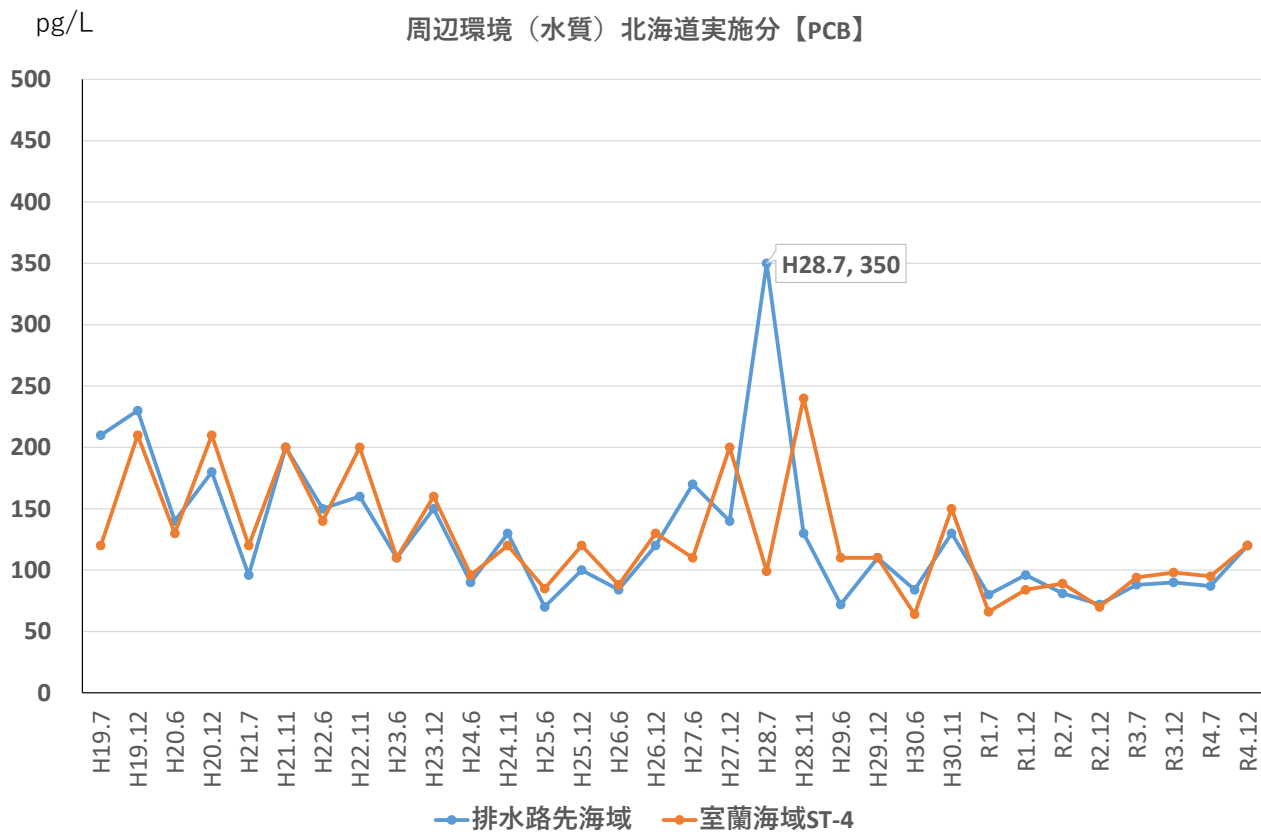
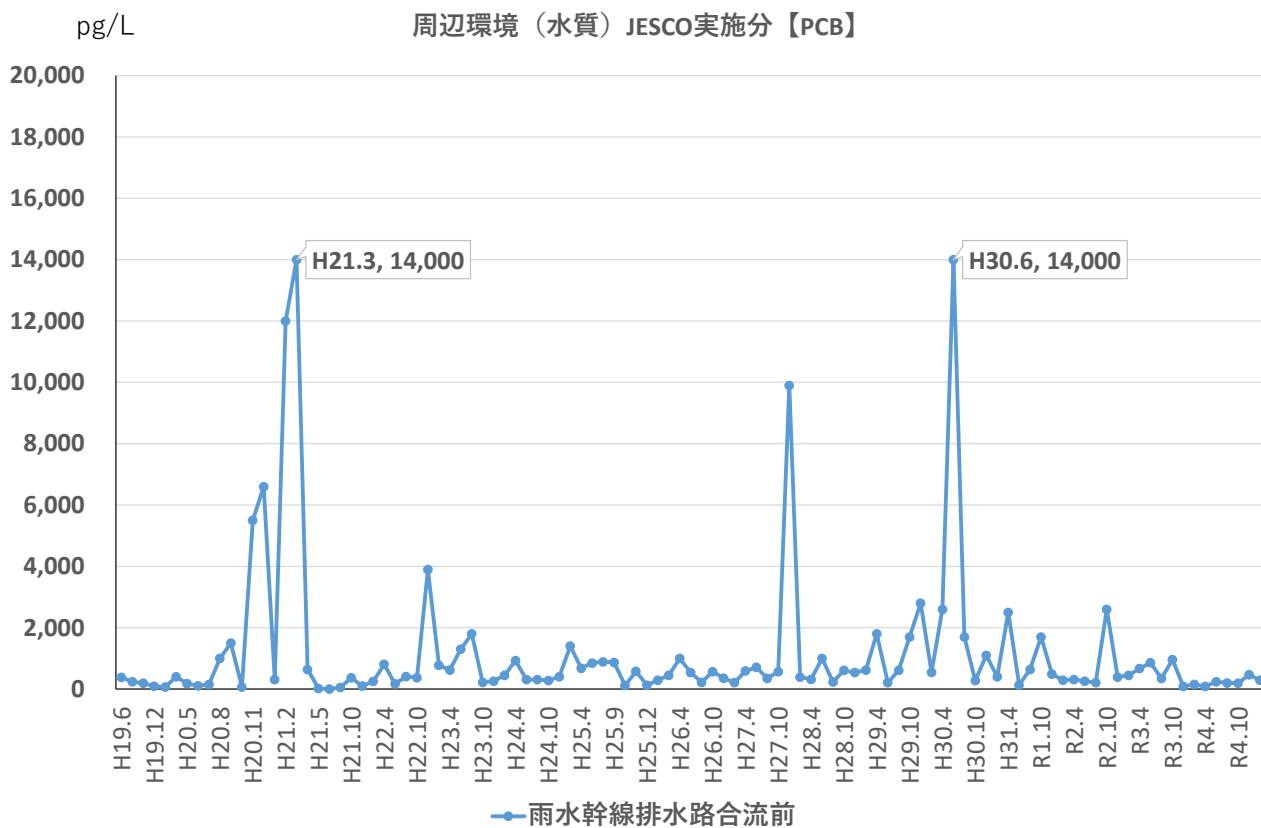
2-1 周辺環境（大気）

- 暫定環境濃度（500,000pg/m³）の1/100以下で推移
- 夏季に高濃度となる傾向が認められる（気温上昇でPCBが揮発するため）



2-2 周辺環境（水質）

- 概ね、水質環境基準（不検出（検出限界値は 500,000pg/L））の 1/100 以下で推移
- スポット的に高い値は、底質の巻き上げの影響を受けたものと思われる



2-3 周辺環境（底質）

- 公共用水域の水質汚濁、魚介類汚染等の原因となる汚染底質の除去等の基準（10ppm=10,000,000pg/g）の1/100以下で推移

